

伊藤正 絵画展

伊藤正絵画コレクションの中から人物画18点を展示いたします



「青衣」1955年 伊藤 正

伊藤正（1915年～1989年）は、戦後「道展」の発展に尽力した会員として知られ、日展と一水会に所属しました。50年に及ぶ画業のなかで札幌の街角や農家風景などをよく描き、数々の賞を受賞しています。

伊藤正は油絵具の材質的な特質を十分に消化し、自分自身の体質であるかのように扱ってきました。それは、油絵具の「粘り気」を巧みに生かして描かれ、豊かな絵画空間を画面に湛えた1950年代までの作品の特長にもなっています。的確な描写力に裏付けされた迷いのない筆致は、生き生きとした色彩と簡潔な画面を生み出しています。

後半生は、風景画のなかに北海道の景色を求めようとしていましたが、晩年に心臓病を患い、アトリエの婦人像や静物などを描きました。

画壇に輝かしい足跡を残された伊藤正の作品をこの機会にぜひご覧ください。

入場
無料

2024年 7月12日(金)～21日(日)

【会場】 くりやまカルチャープラザ「Eki」 2階町民ギャラリー
栗山町中央2丁目1番地（JR栗山駅直通）

TEL 0123-73-3333

【主催】 栗山町教育委員会社会教育課
TEL 0123-72-1117

展 示 予 定 作 品

作品名	制作（年）	寸法(cm)
裸婦	1951	59×90
裸婦立像	1953	45×38
夏衣の少女	1952	89.5×59
婦人像	1956	115.6×89.5
鞆子	1945	43×35.5
少女像	1956	44.5×37
帽子の女	1959	115×88.5
娘の像	1976	144×110
自画像	1975	43×36
女の像	不詳	89×71.5
マダム・ヴィオレット	1980	161×128
レモンを持てる像	1978	71×60
緑窓	1945	89×115
晩秋の子供	1949	90×71
黒衣	1964	89×71
青衣	1955	117×91
防空頭巾の子供	1943	51×63
座像	1941	73×60

技法、画材・・・油絵、キャンバス